

【第1号議案関係】

公益財団法人世界緑茶協会 平成26年度事業計画

(基本的な進め方)

茶を楽しみ、その文化、歴史に触れ、茶の魅力を実感できる「茶の都しずおか」づくりの一翼を担い、世界の茶文化の紹介やお茶を楽しむ新しいスタイルを提案する。

また、国の農産物輸出戦略において茶は重点品目に位置づけられていることから、農林水産省や関係団体と連携し、緑茶の魅力や緑茶に関する情報を世界へ発信し、輸出の促進を図る。

<具体的な事業>

1 茶文化に関する講座及び体験事業(公益目的事業1)

(1) 茶文化セミナー(茶の都しずおか創造セミナー等の開催)

「茶の都しずおか」の創造を目指し、お茶に関する文化、歴史、機能性研究成果など様々な情報発信を行うとともに、お茶を楽しむ機会を創出する。

内容	時期	備考
茶の都しずおか創造セミナー	平成26年11月	茶の文化、歴史、茶の産業遺産、機能性等の情報を発信するセミナーを開催する。
世界のお茶・新スタイル茶会	通年	全国茶サミット会場や「お茶の香ロード」など茶関係イベント会場において、世界のお茶や新しい製法による香り高きお茶などのお茶会を開催し、新しいスタイルの楽しみ方を体験する機会を提供する。

(2) 緑茶通信等の発行

お茶に関する幅広い情報を発信するため、情報誌「緑茶通信」を発行する。

発行時期	主要テーマ	発行部数
平成26年9月	35号 新時代の日本茶(予定)	1,000部
平成27年3月	36号 茶の産業遺産(予定)	1,000部

(3) 静岡茶体験コーナーの運営

茶文化の普及や茶の消費拡大を図るため、「しずおかO-CHAプラザ」の静岡茶体験コーナーの運営を県から受託する。

ア しずおかO-CHAプラザの運営

場所・規模	水の森ビル3階 65㎡ 15席
開場時間	月曜～金曜 午前9時30分～午後4時30分
内容	お茶の新商品 世界緑茶コンテスト入賞茶 世界のお茶の展示 ミニ講座の企画、運営

<ミニ講座のテーマ(予定)>

- 新茶を楽しむ(5月上～5月下)
- 簡単冷茶とおもてなしの本格冷茶(6月下～7月中)
- 夏休み親子で楽しむお茶講座(7月下～8月中)
- お茶の品種を楽しむ(8月下～9月中)
- お茶の香りを新発見(10月上～10月下)
- 玉露と熟成茶(11月下～12月中)
- 入賞茶を楽しむ(1月中～2月上)
- お茶とお菓子でティータイム(2月下～3月中)

イ 茶アシスタント人材育成

女性の求職者等を有期雇用契約にて雇入れ、茶の呈茶及び解説業務に従事しながら、研修することにより能力を高め、茶関連業界への正規雇用を図る事業を受託実施する。

(ア) 職場内研修

しずおかO-CHAプラザにおいて、県内各茶産地の説明やおいしいお茶の淹れ方、季節に応じたお茶の楽しみ方を習得する。

(イ) 職場外研修

茶業に関連する外部講座に参加し、必要な知識を習得する。

2 輸出や学術等に関する情報集積及び表彰(公益目的事業2)

(1) 日本茶輸出の促進

ア 国際的な見本市への参加

国際的な食品見本市等へ参加し、日本茶の淹れ方や保管方法、安全性、緑茶の機能性を紹介するとともに、輸出に関心の高い茶業者の出展を支援する。

また、2015年ミラノ国際博覧会での情報発信に向け、連携先や手法を検討する。

開催地	アジア	米国	国内(千葉)
開催日時	26年10月	26年夏	27年3月
名称・開催場所	Oishii JAPAN シンガポール	国際見本市 (未定)	FOODEX JAPAN 2015 (幕張メッセ)

イ セミナー等の開催

日本茶の輸出を促進するため、関係団体と連携し、各国の輸入規格・規制などを研究するセミナーを行うとともに、各国の規格に合った商品の国内生産の研究及び情報交換を行う。

開催日時	26年12月
内容	・各国輸入規格・規制の研究 ・海外規格に適合した国内生産の情報収集 ・輸出希望者による事例研究

ウ 日本茶を海外に紹介するためのコミュニケーション能力養成講座の開催
「日本茶」について英語で説明できるようになる英語講座を実施する。

開講回数	全6回
開催場所	しずおかO-CHAプラザなど
内容	日本茶の種類と特色、効能、淹れ方、歴史、製造法などを説明する英語

(2) 輸出促進のための情報集積・発信

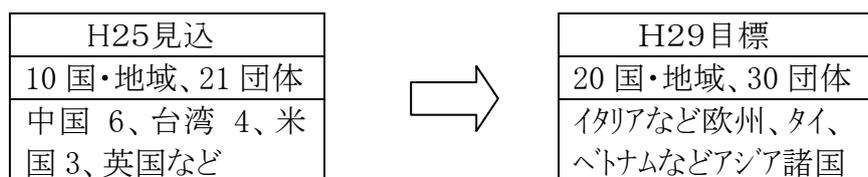
ア 世界とのネットワーク形成

茶の輸出入については、国際的な規格や基準の制定が進められており、我が国としてもこれらの協議に積極的に参画していく必要がある。

このため、農林水産省が設置した国際規格への国内審議委員会に構成員として参画し、国内関係団体の意見調整や対国際団体の窓口役を担う。これにより、国内外の情報集積を行う。

茶に関する国際会議への参加調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ITC (国際茶委員会)の会議出席による生産、貿易に関する情報の収集、国際的課題の調整。 ・FAO-IGG (国連世界食糧農業機構「茶に関する政府間グループ」)における輸出入の規制などに関する情報収集。 ・ISO (国際標準化機構) TC34/SC8 (食品部会/茶分科会)を今後本県で開催するための準備、調整。
各国の茶関連団体との交流、情報交換	全米茶業協会、世界茶連合会、中国茶葉流通協会、中国国際茶文化研究会、韓国国際文化交流協会、台湾茶協会などとの交流により、情報収集と発信を行う。

【海外特別会員の状況と目標】



イ O-CHA ネット等の活用

茶に関する情報の集積と発信を行う。

内容	発信手段
<ul style="list-style-type: none"> ・世界的にお茶に関するニュースや生産・消費などの状況 ・国際的な見本市や旬のイベントに関する情報 ・お茶の機能・効能に関する研究成果情報など 	世界緑茶協会ホームページ「O-CHAネット」 賛助会員向けメールマガジン (1回/月程度)

ウ 日本茶の輸出戦略

日本茶の輸出を促進するため、国の輸出戦略実行委員会茶部会に参画して、ジャパンブランドの確立やマーケティング体制の構築、輸出環境整備などの方策策定に協力するとともに、目標達成に向け施策展開を分担する。

エ 世界緑茶会議の開催準備

第6回世界お茶まつり開催承認や「世界緑茶会議 2016(仮称)」の開催に向けた企画、準備を行う。

(3) 世界緑茶コンテストの開催

ア 世界緑茶コンテスト 2014 の開催

新しいコンセプトを持ち、創造性に満ちた魅力あるお茶の商品を提案するコンテストを開催する。

目標出品点数	80点(うち海外20点)
募集期間	平成26年4月～7月
審査会	平成26年8月 島田市お茶の郷博物館 (審査員) 茶研究者、流通業者、マーケティング研究者、デザイナー
入賞茶の展示,PR	・平成26年11月、表彰式(会場未定) ・各種イベントや食品見本市等にて展示、PRを実施 ・ホームページ「O-CHA ネット」に掲載

イ 第10回国際名茶品評会への協力

世界茶連合会が主催する国際名茶品評会の日本国内の募集窓口となるとともに、審査に協力し海外茶業関係者と交流する。

(4) O-CHAパイオニア顕彰

茶にかかわる優れた学術研究や緑茶の振興及び発展に寄与した産業技術、緑茶生活文化の提案や消費拡大等の優れた成果を顕彰する。

(ア) 表彰の区分

部門	内容
学術研究大賞	茶に関する優れた学術研究成果
新技術・新商品開発大賞	茶の生産や消費に関する革新的技術や新商品開発
文化・芸術大賞	茶に関する文化及び美術等の芸術に関する活動
CHALLENGE 賞	今後の成果が期待される独創的な取り組み
O-CHA特別賞	その他の優れた取り組み

(イ) 審査会:平成26年9月

(ウ) 表彰式:平成26年11月

3 ホームページバナー広告(収益事業)

O-CHANET は、1か月平均 100,800 件のアクセスがあるお茶の総合情報サイトであり、お茶関連業者(当協会会員)へのバナー広告掲載を勧めることにより、当協会HPを中心にしたネットワークの構築をすすめる。